

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/06/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.68	-0.06
JPY/THB	0.2330	-0.0009
USD/JPY	157.40	0.37
EUR/THB	39.25	-0.20
EUR/USD	1.0703	-0.0034
USD/CNH	7.271	0.001
SGD/THB	27.10	-0.10
AUD/THB	24.26	-0.12
USD/INR	83.56	0.01
USD Index	105.55	0.35

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.504	-0.006
10Y (THB)	2.767	-0.002
5Y (USD)	4.238	-0.006
10Y (USD)	4.221	-0.023

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,331.4	31.2
WTI (Oil)	78.45	-0.17
Copper	9,741.5	-53.0

Stock

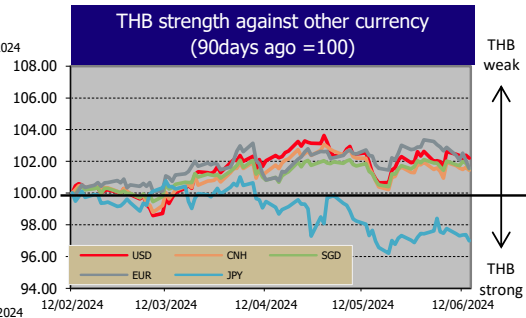
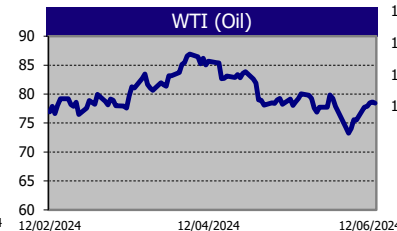
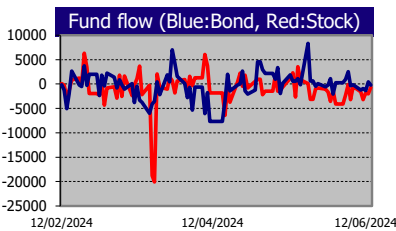
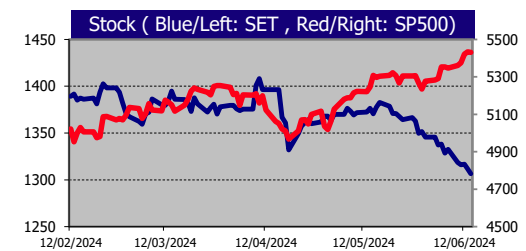
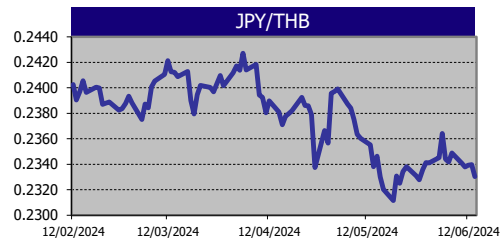
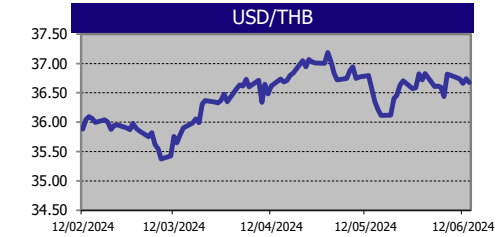
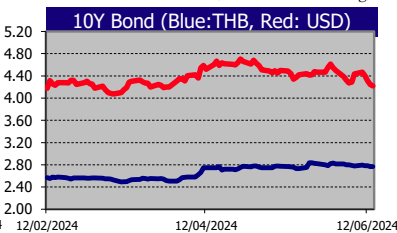
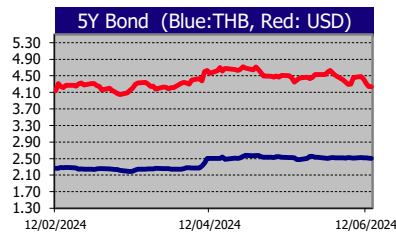
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,306.56	-5.22
NIKKEI (JP)	38,814.56	94.09
DOW (US)	38,589.16	-57.94
S&P500 (US)	5,431.60	-2.14
SHCOMP (CN)	3,032.63	3.71
DAX(GER)	18,002.02	-263.66

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(714)	1310.8
Bond net flow	(232)	-650.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

14日のドルパーツは小幅に下落。36パーツ台後半で取引を開始。注目度の高いタイの経済指標の発表が無く、日銀政策決定会合もドルパーツに与える影響が軽微だったため、オンショア市場のドルパーツは狭いレンジ内で方向感にかけける展開。海外時間、米6月ミシガン大消費者信頼感指数が発表され、超短期のインフレ予想は予想を上回ったが、ヘッドラインが大きく予想を下回ると、ドルパーツは下落。そのまま前日比小幅ドル安の36.68レベルで終えた。

●ドル円その他

14日のドル円は小幅に上昇。157円台前半で取引を開始。日銀会合の結果発表を前に警戒感が高まり、一時156円台後半まで下落したが、政策金利が据え置かれ、事前リークされていた国債購入減額が今度変更ないと報じられると、円売り優勢へ転じて158円台前半で海外時間へ渡った。海外時間、利食いに押されて再び156円台後半まで下落。その後は157円台に戻し、米6月ミシガン大消費者信頼感指数がヘッドラインが予想を下回ったことで157円台で上値重く推移し、157.40レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

開催順にタイ、米国、日本の中銀イベントを通過しましたが、ドルパーツはその水準を大きく変えるには至りませんでした。特にFOMC後に更新されたDotsチャートは年内1回が中央値と発表されたものの、分布上では年2回を見通す参加者が8人と年1回を予想する7人よりも多く、今後の状況次第で十分に年2回に変化し得るとことが相応に影響したように思います。また、パウエル議長の記者会見でも、直前に発表された米CPIは非常にポジティブだったと何度も繰り返していた点が印象的で、ハト派的に聞こえました。タイ中銀のMPCにおいても、タイ5月CPIが中銀のインフレターゲットに戻ってきていることで、現状維持に対する政府からの異論も特に出ていないようで、警戒されていたほどの影響が出ることはありませんでした。今後はデータ次第であることはタイも共通しているため、引き続き指標の動きに一喜一憂しながら、次のトレンドを探っていくようになるかと思います。本日発表予定である米5月小売売上高では、先週のCPIに続いて米ドルに対する弱気のバイアスが強まるかどうか注目したいところです。

(鈴木)